



ひろ前で学ぶ 芸術歌曲の夜

2026

世界で学び、歌った歌手たちが
演奏し、教える特別な1日を、
いっしょに過ごしてみませんか？

出演・講師



テノール

横山和彦

東京学芸大学名誉教授



ソプラノ・リリコ

杉原かおり

弘前大学教授



ピアノ

小田直弥

弘前大学助教

プログラム 詳細・申込は裏面QRコードから

- 13:00 オープニングトーク
「教えて!声楽のこと、歌曲のこと、音楽のこと!」
- 13:30 講師による演奏会 お話・字幕付き (先着150名)
- 15:30 公開レッスン (受講1組5,000円、抽選3組/見学無料、先着150名)

公式ホームページ

<https://hirosaki-artsong.com>



特別企画

「こぎん刺し」「書」の展示
オリジナル珈琲のプレゼント



入場・見学
無料

先着になります。
公開レッスン受講者は抽選で、
有料になります。

11月3日(火・祝)
13:00~17:00

弘前大学
創立50周年記念会館
みちのくホール

主催：弘前大学教育学部声楽研究室・ピアノ研究室 共催：弘前大学教育学部附属国際音楽センター
協力：Dolcetto・iro coffee・喫茶ルミエ・kogin-atelier tubomi・かふえ&ぎやらり〜Monroe(書)・
HIROSAKI AIR 問合せ：弘前大学教育学部ピアノ研究室 小田直弥 ☎ n.oda7@hirosaki-u.ac.jp
0172-39-3377 ※留守の場合は、留守電にお名前と電話番号を入れてください。

無料駐車場をご利用いただけます。ただし台数に限りがありますため、なるべくお乗り合わせいただくか、公共交通機関のご利用もご検討ください。

技と心 2026

〔申込について〕



申込はQRもしくはお電話から
☎ **0172-39-3377**

留守の場合は、留守電に
お名前と電話番号を入れてください

●申込について、公開レッスン受講希望者以外は、定員に達し次第、申込を締め切ります。

●申込にあたり、複数名分のお申込の場合は、代表者の方1名がお申込くださるようお願いいたします。なお、同一氏名で2件以上のお申込をされる場合は、備考欄にその旨を書いていただくと大変助かります。ご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

●公開レッスン受講希望者は、安心して公開レッスンを受けていただけるよう、小田直弥が事前レッスンをを行います。公開レッスンの講師は、レッスンを希望する曲や学びたい内容から、運営側で調整します。

〔アクセス〕

無料駐車場をご利用いただけます。イベント当日は、**〈文京町キャンパスの正門〉**にて駐車場のご案内をさせていただきます。

弘前大学創立50周年記念会館
みちのくホール



特別企画

こぎん刺しと書と珈琲



当日は、こぎん刺しや書の作品展示もあわせてお楽しみいただけます。また、市内の複数の咖啡店が共同開発した**オリジナルブレンド“花筏”**（はないかだ）のドリップバッグをプレゼント。散ってもなお美しい桜の花筏をイメージし、ベリーやシトラスを思わせる余韻の長い味わいに仕上げられています。会場では珈琲の無料提供も予定しています。音楽とともに、こぎん刺し・書・珈琲が織りなすひとときをお楽しみください。



喫茶ルミエ



Dolcetto



iro coffee



プログラム

13:00-13:20

オープニングトーク

「教えて!声楽のこと、歌曲のこと、音楽のこと!」

初めての方でも「なるほど!」を持って帰っていただけるよう、3名の講師が声楽や歌曲、音楽について、お話をします。

13:30-15:00

講師による演奏会 お話・字幕付き

講師がイタリアとドイツの歌曲をお届けします。お話と字幕もあるため、初めて聴く作品でも安心してお楽しみいただけます。美しい詩、声、ピアノ、そしてアンサンブル。「芸術歌曲の技と心」をご堪能ください!

◎入場無料(先着150名 ※10月30日申込締切)

15:30-17:00

公開レッスン

公募によって選ばれた3組のレッスン受講生に対して、各講師がレッスンをを行います。レッスンの内容は、声の出し方や発音、作品解釈、演奏者としての心構えなど、多岐にわたります。経験豊富な講師によるレッスンの受講/見学を通して、あなたの音楽ライフをもっと豊かにしましょう!

◎レッスン受講者:1組 5,000円(抽選3組 ※10月10日申込締切)

◎見学無料(先着150名 ※10月30日申込締切)

出演者・講師プロフィール



横山和彦 Kazuhiko Yokoyama (Tenor)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒、同大学院独唱科修了。渡辺高之助、高橋修一両氏に師事。在学中、「芸大メサイヤ」、芸大定期ヴェルディ「レクイエム」にソリストとして出演。卒業後、宗教曲のソリストとして多数の作品に出演。NHK-FM新人演奏会出演。主な作品として、バッハ「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、多数のカンタータ、モーツァルト「レクイエム」、「ハ短調ミサ」、メンデルスゾーン「聖パウロ」、「エリア」など。また、ヘンデルの「メサイヤ」、ベートーヴェンの第九のソリストとして多数出演している。オペラでは、モーツァルト「魔笛」のタミーノ、ドニゼッティ「愛の妙薬」のネモリーノなど、主役で出演した作品をはじめとし、貴重なバイプレーヤーとして、多数の作品に出演。1992年文部省の在外研修員として、ウィーンに留学し、ウィーン国立音楽大学オラトリオ・リート科教授のW. モーア氏の下で研鑽を積む。留学中、ウィーンにおいてリサイタルを開催し、成功を収める。帰国後に行ったリーダー・イベントは10回を数え、いずれも好評を博した。ぐるーぷ・なべ、オペラクリエーション・イン・青山、日本演奏連盟各会員。東京学芸大学名誉教授。



杉原かおり Kaori Sugihara (Soprano lirico)

東京音楽大学大学院音楽研究科修了(首席)。「音楽現代」(芸術現代社)新人賞、国際音楽コンクール(サンレモ音楽祭オペラ部門)特別賞、第4回国際音楽コンクール(J. Brahms)第2位、第9回国際トルトーナ音楽コンクールオペラ部門、第27回イタリア声楽コンクール他、国内外の数々の国際コンクールでの入賞歴を持つ。ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生(1996-97)。1998年がブリエッラ・トゥッチ、東敦子両氏の推薦を受けロータリー財団奨学生としてイタリアに留学。ミラノ音楽院で研鑽しつつ、オペラ「ラ・ボエーム」、「蝶々夫人」、「トスカ」などで主演の他、イタリア各地の音楽祭・コンサートにソリストとして数多く出演した。その多くはCorriere della seraやRassegna drammaticaなどのメジャー紙上にも掲載され、発声・音楽性・劇性について高く評価された。帰国後も後進の指導にあたりながらリサイタルや国内外のコンサートに招かれ活動を展開している。近年はイタリア近代の声楽曲の演奏と研究に力を入れている。これまでに、東敦子、R・エリー、D・マツォーラ各氏他に師事。現在、弘前大学教授、日本演奏家連盟会員、日本声楽発声学会会員、日本音楽学会会員。



小田直弥 Naoya Oda (Piano)

東京学芸大学教育学部および同大学院(声楽領域)修了。ザクセン州立歌劇場での声楽研修、ミュンヘン国際音楽セミナーオペラ部門を修了。その際にP・アッサンテ、古田昌子、G・ユッカー、M・ゲルケ各氏に音楽解釈、発声法の指導を受ける。現在は歌曲ピアニストとして演奏活動を行っており、二期会サロンコンサート「Concerto italiano〜イタリアの調べにのせて〜」(ソプラノ:山崎陶子、テノール:中島康晴)、「L'univers de la belle époque: Romances sans Paroles」(ソプラノ:高橋美千子)、「大野徹也リサイタル」、「森田学バスリサイタル」等、国内外で活躍する歌手と共演する他、日本歌曲の初演、E. W. コルンゴルトの歌曲のみを集めた「コルンゴルトの夕べ」(バリトン:石崎秀和)、戸塚区民文化センターさくらプラザ主催「名曲サロンシリーズ」にてJ. ヘギー、L. レイトマン等のアメリカ現代歌曲作曲家の作品紹介にも取り組む。雑誌「音楽の友」の演奏評では、「作品に対する理解と共感が、非常に深い次元で結実した演奏」と評された。現在、弘前大学助教、東京学芸大こども未来研究所学術フェロー、日本音楽教育学会会員。